(明治四十一年十二月二十七日第三種郵便物認可) (日刊) 日曜及祭日の翌日休刊 漢城 明治四十二年二月五日 (金曜日) 第卅七號 (一)

京城新報

●商業上より觀たる在韓外國人(二)

▲就中日本人と韓國人との關係

第一項 輸出品に關する事項

二、砂金及金塊

金は韓國に在ゝ米穀に亞ぐ輸出の重要なるものにして毎年の輸出價額五百萬圓内外に達し新式採掘事業の投資の增加及び採掘の改良に依り益々增加の見込あり而も其經營は主として歐米人の掌握に歸し而して近時日本人の經營に屬するものあるも日尚ほ淺く未だ到底雲山金坑等の盛なるに比肩すべきに非ず次に韓人の採取は古來各地に行はれ順安の砂金の如き一昨年の交年額は九十万圓を算すと稱せられしも其採取方法の幼稚なると競爭の結果濫掘に陷り採取額增加するに至らず如此觀察し來れば今日韓國金坑の採掘權は主として歐米人の手に在りと云ふを憚らざるべく今雲山金坑に就き狀況の概畧を摘記するに金坑の延長は十九里半の幹線と内站より分岐したる七里の支線とを抱有し金礦は班狀花崗石麻岩層中に存在し其始て開掘せられたるは三百四十五年の遠きに遡るも烱眼なる米國人の着目する處となり韓國政府より總面積六十方里に亘る採掘の權利を穫得したるは今より十五年以前にして爾來事業の發展著しく今日の計算に依れば採掘高年額四百万圓と稱せられ輸出の大部分を占め而して是に從事する者洋人の外日本人五十支那人百並に韓人三百に達し是等は金坑會社に依て今日の生活を渡ぎ此以外に於て間接に之が恩惠に浴する者夥しと云ふ畢竟韓國の礦業に對する歐米人の投資經營は產業上勢力伸張の最も有效なる一企業として觀察に値すべし

三、石炭

炭坑は各地に散在するが如きも目下採掘せらるゝものは平壤炭坑にして韓國政府の經營に屬し礦區は四郡に亘り約十八里の間に蜿蜒起伏し炭量殆ど無限と稱せらる而して炭種は無煙粉炭にして機關用としては煉炭と爲さゞるべからず如此用法の不便なるは此豐富の炭床をして未だ著しく發展の機運に至らしめざりし以所とす然れども昨今に至り品質漸く世間に知られ海軍用として日本政府に供給すべきのみならず三井物產會社を通じて支那方面に輸出し亦た韓内地に汎く販賣店を設置するの計畫あるに依り將來事業は一層擴張せらるべく而して本品の輸出商權は前述の如く目下日本人の手に存し日本人鄭永昌及び淸國人某々の數名は協同して關東州鹽輸出の特許を淸國政府より獲得しジャンクを利用して當國に淸鹽を輸入するの復航に本品を積載輸出するの計畫熟し近日其開始を見るべしと云ふを以て本品の取扱主として日淸孰れの商人に歸屬すべきや未だ遽に推定すべきにあらず

四、木材

木材は目下重要の輸出品たらざるも鴨綠江畔鬱蒼たる良材の將來伐採せらるゝに至らば當國の輸出貿易上重要の關係を生ずべきや疑を容るべからず目下鴨綠江岸韓國側に於ける森林は營林廠の管理に屬するが故に之を伐採するには營林廠に出願して公賣の付與を受けざるべからず而して伐採したる木材は新義州に流下するを待て檢査の上伐採者と協定したる價格に依り買收せらるゝと雖も其買收に値せざるものは自由放賣を認めらる而も本品の輸出は支那人の手に存し韓人は主として伐採に使役せらるゝに過ぎざるの現狀なるも將來に於て木材の商權は日本人の投資と共に漸次日本商の手に移轉するに至るべし

五、生牛

當國に於ける生牛の取引は市場に於て一定の市日に行はる當日に至れば日韓の博勞集來し各頭毎に價格を鑑定し賣買を了することにして釜山鎭、東萊及び金泉等最も名あり而して輸出は日本の生牛商其持船を回航し來り開港地の生牛問屋(日本商人)に就き實集を依托し問屋は依託に應じ相當の手數料を徵して買出に從ふ有樣なるも而も生牛輸亦之を一定の場所に繫留するの要あるを以て取引決了するも買主は直ちに之を港岸に曳き來る能はずして出港に差支なき天候を見定め初て稅關構内に送致し來るを常とす

六、鮮魚

鮮魚の輸出港は現今專ら釜山にして日本人の經營に係る同港南濱水產會社付屬魚市場に取引せられ滿洲及び韓内地に分散するものは勿論輸出向に至る迄凡て同市場を經由す而して市場は一定の仲買人(日本人)集合し糶賣するの方法にして目下の組織は極て簡單なるも將來漁港の計畫にして實行せられ又た冷藏輸送の方法發達するに至らば日韓兩國民の漁業を奬勵すると同時に鮮魚の輸出は其面目を一新するに至るべきを疑はざるなり

寄書

●不屈至極也

北韓巡幸に陪從したる新聞記者に對する待遇は頗る冷淡であつたと云ふことだ、之れ局に當るもの丶心得違である、元來新聞記者の人格を高める必要もあるが、社會も亦新聞記者の職分を尊崇する樣にならなければだめである、新聞記者の尊重されるときされざるとによりて其國の文野の程度が知れるのである、世に官吏より貴きものはないやうに思ふ、官吏其者の目よりは或は官吏以下と見へるであらう、けれどもそれは甚だ謬違て居る、新聞記者は官吏以上である、なぜなれば新聞記者は彼等がすることを批評し且善導するものである、彼等が誨へる位置に立つものである、之を辨へずして冷遇杯するぞは不屈至極であると思ふ（咄々生投）



(百十七)　宮台柳葉

長次郎は物をも言はず其の書面を繰返して眺めて居つたが、やがて小房に向ひ、

『こりや、然う爲ちや居られない、小房私はこれから直ぐ東京に往つて來るから、お前は折角來て下れたが今晩は歸つて下れ。』

小房は呆れたやうに、

『此の手紙か奈何か爲たんですか、何んで那樣に俄に東京にお出でなさるんです、』

『何んでと云つて、此の手紙は私が御恩を受けた濟陽樣なり、濟陽樣の御主人樣なりの大事件だから一時も早くお知らせ申して救けて申さなきやならないのだ。』

『ですけれども貴方今から往つても助け申す事が出來ますか、まあモウ一度能く御覽なさいな。』

と云はれて、長次郎は又手紙を擴げて、

『大丈夫だらう、これが今日着いた手紙だから今から直に上京すりや必然間に合ふに違ひない。』

『では一時も早く上京して、用事が濟むだら早く歸つて來て下さいね。』

『然うさ、此の事さへお知らせ申せば直樣歸つて來るさ、しかしお前に呉々も賴むで置くが此手紙をお前が拾つた事や又私がこれを見て東京に往く事も誰にも言つて下れちや困るよ、若か惡人の方へ洩れか知れると何樣警戒を加へるか知れないからね。』

『そんな事は御心配なさいますな、必ず他に話したりなんかは致しませぬ。』

『ではこれから直に出發しやう。』

と、帶の間から時計を出して些と眺め、

『しかし、自宅へ手紙でも出して置かなきや心配するだらうね。』

『そりや心配なさいますとも、私硯と紙を持つて參りますから、一筆書いてお出しなさいまし。』

と、表の方へ出て往つたが、やがて硯と紙をもつて來た、長次郎は筆を把ると、さらさらと、急用あつて上京すること、一兩日に歸宅する事、留守中萬事に注意する事など認めてやがて郵便函に投り込ました、そして彼の山川から雅敎に宛てた證據の書面を懷中して、京都停車場へ車を走らせ、夜行列車に乘り込むで上京した、途中は變つた事もなく翌日の正午過ぐる頃新橋停車場に着いて、直樣車を靑山南町の山川方へ飛ばして案内を乞ふた取次に出た婢は、一目見るより驚いて、

『まあ、町田樣ぢやございませんか、いつ、御上京なさいました、どうぞお通り遊ばしませ、はい旦那樣も、奥樣もお宅に居らつしやいますか。』

と、町田を客室に案内して後、瑞恭が室に往つて襖の間から顏を出し、

『あの旦那樣、山城の町田さんがお出でになりまして、旦那樣に急いでお目通り爲たいと仰つしやいましたから、お客室へお通し申してございます。』

『はあ、町田が來たか、大層俄然に上京したと見わるね、何か急用で遣つて來たんだらう、寒いから火鉢に火を澤山入れて、そしてお茶を容れてやるが宜い。』

『はい畏りましてございます。』

と、婢は退る、瑞恭は室を出て、やがて客室に往つた。

京城新報

統監の北韓視察

如何なる印象を受けし乎

統監伊藤公が酉寒の候に於て韓皇に同行して北韓の視察をせられたることは余輩の多とする所なり、余輩は公が恙なく歸城せられたるを祝すると與に此行に於て公は如何なる印象を受けたるかを問はんとす、南韓視察の際[illegible]所に移住日本人の多き爲に盛なる歡迎を受けたり、殊に釜山及馬山の如き純日本人居留地とも云ふべき所なれば其歡迎も一層盛なりたるなり、加之其背景として帝國の軍艦港内に雄風を示し、觀砲海上に融き其光景頗る盛なるものありし也、斯の如く南韓巡行は其外部を華麗に飾られたりき、余輩は斯る人工的の施設が果して如何なる効力ありしや否やを知らすと雖も表面より觀察すれば人工其者だけは成功したるものゝ如し、然るに北韓行に就ては公が出發前に於て余輩は述べて曰く、北韓は移住邦人の少き事と[illegible]の乏しきとにより歡迎其他のことは南韓に比して大に劣る所あるべきを憂ふ特に北韓は曾て露人が懐撫の手を付けたる所且つ清國に接近し居れば帝國の保護政治に對する觀念も自ら南韓に異る所あるべしと、果せる哉先づ第一に開城に於て所謂撃烈彈事件起り、續て宮廷列車内に於て魚潭未乘醱の格鬪事件起れり、而して其節の渝遷が前以てありたるにも拘らず沿道歡迎者が韓國々旗のみ携へて日本國旗を携へざるが如き異樣の現象あり、新義州に於ては[illegible]統監歡迎の爲に持たすべき日本國旗を命令して破毀せしめたりと云ふ、此等の出來事は保護政治に對して何等を意味する乎、平壤に於ては移住邦人の歡迎は盛大なりしと云ふ、然[illegible]韓人の爲したる所に非ず、斯の如くにして北韓巡行は遂げられたり、之を全体より觀察すれば韓皇は兎に角統監は北韓に於ては邦人以外韓人には大に冷過せられたりと云ふも過言に非ざるべし、されはこそ○○は某所に於て韓人の一團に向て汝等は今尚ほ

鷲印旗を好み居るやと言ひたりと云ふに

非ずや、此一言を以て見るも如何に冷過せられしやを知るに足らむ、御用通信者は常に統監の傍に侍して南韓行も今回の北韓行にも其一擧一動を報じて余す所なし、如何に忠義を擬するも無きものは通信する能はず、現に今回の如きは韓人の斷髪六千韓人に及ぶと誇大の通信をなして統監の効績を吹聴するに至りては笑ふべし、如何に其効を裝らんとするも事實を捏造するが如きは非なり、要するに今回の北韓行と云ひ先の南韓行と云ひ誠意を以て歡迎したるものは移住邦人にして韓人にあらざりし事は公も深く諒解したる所ならん、故に於て公は如何なる誠を起せる乎、公は常に韓人本位を說き邦人を度外視するの傾きあり兩回の實地視察によりて如何に韓人に對する感念を持するに至りしか、今尚ほ韓人本位を主張するの勇ある乎、余輩は終に臨て公の巡視の勞を謝すると同時に此實地視察によりて自ら悟了する所あるべきを信ぜんとするものなり、

統監慰勞會

頽齡の統監は寒天をも厭はず過去三週日を費して南北兩韓の實地視察を遂げたり公の施政に對して常に反對の意見を持するの余輩も公の採りたる今回の勞に就ては聊か感謝の念を有せずんばあらず、聞く公は旬日中に東上の途に就かると余輩は此際我官民が合同して公の爲に大々的慰勞會を開き序を以て公をして[illegible]蓄行の眞價を世に披露せしめんことを望む。

街路取締規則

現在の街路取締規則が實際に於て不便の點少からずとは余輩の屢耳にするところなり今日の京城は昔日の漢城に非ず當局者たるもの須らく該規則の改正を企てゝ可なり。

東京電報

▲大迫中將差遣 大迫陸軍中將岩田砲兵中佐は滿韓に差遣さる

▲紀念祝典擧行 憲法紀念祝典は下院各派協議の結果官民を通ずる大規模の式を擧ぐることゝなし貴族院に交渉中なるが無論同意を表すべく政府も此舉を賛し柴田翰長を委員として參加せしむることゝなれり（以上三日夜發）

▲秘書官の用向 日高内大臣秘書官の韓國差遣は田中宮相辭任に付其の後任に關し賀き遣りの御諮詢を帶びたるものなり

▲憲法紀念祝典 政府兩院及び實業團体首唱となり十一日日比谷公園にて憲法紀念大祝典を擧行することに決定せり（以上四日夜發）

▲政友會新議員 政友會新議員の態度益々強硬となり各自申合せの上嚴正の方針を採る[illegible]

▲御降嫁と調度 周宮内親王殿下御降嫁の調度英佛兩國より着す二萬六千圓の頸飾一萬二千圓の指環等あり（以上四日發）

釜山電報

▲拓殖總裁一行 東洋拓殖株式會社員一行廿名今朝の連絡船にて當地着其の内四名は當地發急行列車に搭じ直ちに京城へ向け出發し宇佐川中將以下五名は當地一泊の上明朝の急行列車にて京城に向ふ筈なり（四日發）

雜報

●侍從長の書簡 日高内大臣秘書官が伊藤統監に齎したる徳大寺侍從長の書簡は左の如し

尊啓陳上益々御清穆に渉らせられ御同慶に存じ上候閣下愈々御壯榮御奉務奉賀候陳者過般韓皇陛下南巡のため大に人心に感動を與へ民心の和ぎたるを聞かれ間もなく北方巡幸を決斷せられ閣下に同行を命せられ殊に此度は酷寒の地勞苦を顧みず韓皇を翼賛せらるゝの功果頗る大ならん　皇上深く滿足に思召され候此の酒肴料下賜相成候間御傳へ申入候御拜受可被成候早々敬具

一月卅一日　實則

伊藤統監閣下

●統監の歸朝期 伊藤統監は愈々來る十一日仁川より軍艦吾[illegible]に乘し出發の[illegible]なり右に對し統監は今朝電報を以て天恩を拜謝し行幸の模樣を言上せり

●巡幸活動寫眞 韓皇北韓巡幸に際し韓國側にては通譯地御に屬する日韓民が熱誠なる奉迎送の模樣及び統監外扈從の盛大なる實况等を紀念の爲め活動寫眞に撮影する爲め曾て韓國皇太子御遊戯を撮影したる東京吉澤商店の技師を聘し巡幸地に於ける重要なる部分は總て活動寫眞に撮影せしめたるが右は他日機會あるごとに巡幸地に屬せざる各道の人民に示し以て韓皇嚴寒の際親しく民情を視察せられたる御仁徳と統監が思召に依り老体を犯して列外に扈從し日韓兩皇室の親善と韓皇今回の御盛擧の趣旨を普及せられたる實况並日韓民協同して熱誠を捧ぐる奉迎送の模樣を活動寫眞に依りて示す筈なりと

●伊藤統監晩餐會 伊藤統監は昨日午後六時より韓に入城せられたる日高内大臣秘書官齋藤間島出張所長其他統監府各高等官を官邸に招き晩餐會を催したり

●内部法令審査會 内部法令審査會は近日開會し社寺の財産等に關する規定其の他新たに制定すべき法令の審査をなすべしといふ

●李完用の東上 總理大臣李完用は來る十一日伊藤統監の歸朝と共に同道して東上せらるべしと云ふ

●岡部氏渡韓說 司法大臣岡部長職子は韓國法制上の調査旁渡韓の說あり其序を以て東萊に別莊を設くべく曾て購入したる土地もある由なれば或は時機を視て家屋の建築をも爲すべく又平壤及び群山方面にも先年農事上の經營を爲したるものあれば之が實况をも調査するならんと云ふ

●各大臣以下問安 昨日午前十時より各大臣以下の高等官は昌德宮に參内し還幸後の問安の爲め名簿に署名せり

●副統監統監訪問 曾禰副統監は病氣輕快せしを以て昨日午前伊藤統監を訪問せり

●郡掲示場の新設 法令を周知せしむるため全國各郡に掲示場を設くるの議ありし事は既報の如くなるが愈々決定し内部より各道に命じて建設せしむる事となれり

●南韓漁場の平穩 朝鮮海水産組合の調査に依れば昨年末頃までは全南沿岸に海賊出沒して漁場の危險多かりしも昨今は沿岸頗る平穩に復し木浦附近及び順天、南海方面に多少警戒を要するのみなりと

●道書記官舍新築 内部は本年度に於て道書記官々舍を新築すべき事は既報の如くなるが右は住宅に最も不便を感ずる地方を擇び新築する筈にて目下調査中なりといふ

●巡査教習の修了 一月八日より警察官練習所に收容したる日本人巡查短期受業生二十七名は教習を了りたるを以て本日同所に於て卒業式を行ひ且つ各任地への辭令を交付する筈

●領事統監府訪問 伊國領事カサッチー氏は四日午前統監府を訪問せり

●内地滿洲通切符 南滿鐵道と内地各地各鐵道との連絡に關しては目下聯絡實施上の細目に關し協定しつゝあるが更に聞くところによれば該連絡航路には四十日間有効の旅客通切符を發賣し右切符は便宜内地南滿洲鐵道及び汽船に於て必ずしも同一等級たるを要せず自由各等級を撰擇することを得るの制度を取り來月初旬頃より實施し左の各驛に於て該切符を發賣すべしと云ふ

○新橋　横濱　平沼　名古屋　京都
大阪　神戸　博多　長崎　熊本
○大連　旅順　營口　遼陽　奉天
鐵嶺　長春

●旅費手當の規定 土木工事に關する日額旅費及漢城府内に於ける建築並に土木工事に關し現場に出張する職員、勤務手當支給規程は内部法令審査委員會に於て決議したるを以て近々之れが發布を見るべき筈なるが其の規程要項は土木工事に關する日額旅費規程は道路、水道其他の土木工事の爲め出張する職員の管内旅行に對しては工事監督者は第一號表、土地の測量又は踏査に關する用務は第二號表の日額旅費を支給すといふ

第一號表

（區分）	（奏任）	（判任）	（雇員）
内國人	一、〇〇〇	五〇〇	三〇〇
外國人	一、五〇〇	一、〇〇〇	五〇〇

第二號表

（區分）	（奏任）	（判任）	（雇員）
内國人	一、五〇〇	八〇〇	五〇〇
外國人	二、五〇〇	一、五〇〇	八〇〇

然して地方在勤者の管内出張を除く外在勤地と用務地間又は用務地間と用務地間の旅行に對して本規程を適用せず尚一日中日額旅費を給すべきものと普通旅費を支給すべきものには日額旅費を給せずと次に漢城府内に於ける建築並に土木工事に關し現場に出張する職員勤務規程手當支給規程は

（區分）	（奏任）	（技手）	（雇員）
内國人	五〇	三〇	二〇
外國人	一、〇〇	五〇	三〇

にして時間外勤務手當は一日未滿の時はその半額を支給し旅費規則により日給を受けたる日は本規程を適用せずと

●大邱勸商場開業 大邱勸商場は豫て新築中の處今回竣工し去る三日開業式を擧行せり會するもの恒吉旅團長、菊池聯隊長、久水理事官、岡本副理事官、湯淺部長、竹内書記官を初め六十余名加藤氏組合を代表して挨拶を述べ次に勸商場の目的に及ぼし終つて菊池聯隊長謝辭を述べそれより宴に移り散會したりと云ふ

●釜山建築會社の計畫 曩に大倉喜八郎氏渡韓の際釜山に建築會社を設立せんことを計畫したることは既報の如くなるが之が豫算の取調べに就ては頗る面倒なりしも昨今に至りて稍や成案となりたりと云ふ而して概略は一百萬圓の株式會社として四分の一拂込を以て營業する都合なりと云ふ

●仁川宮町貸地料 仁川民團の所有地宮町貸地料は四十二年度以降に於ては從來より一ヶ月一坪に付十錢方引下げの事に去月二十九日の民會にて決議せられたるが右は前年度地料未納者に對しては其の皆納を俟つて新地料額に依り契約するものなりと云ふ

●釜山居留地戸口 昨年十二月末に於ける釜山居留地の戸口は戸數四千二百十三戸人口男一萬二千〇二十六女九千二百六十六計二万千二百九十二人にして其内絶影島在住者は男九百二十六女七百五十八計千六百八十二人なりと

●仁川の埋立問題 仁川第四民會にて秘密會に附せられたる各國居留地先埋築問題に關する委員會は昨日午後一時より開かれたるが同問題に關しては追つて報道する所あるべし

●清津の埋築工事 清津にては本年度より二ヶ年竣工の期限を以て埋築の大工事に着手する由

●永田警視の歸任 上京中なりし永田内部警視は一昨夜歸任せり

●荒井次官上京期 度支部次官荒井賢太郎氏の上京に付ては豫て報ずるところありしが愈來る十五日朝出發の筈なりと

●拓殖課長の入京 東洋拓殖會社調査役文書課長松田四郎氏は一昨夜入京外波武官邸に投宿せり

●京城基督青年會 同會にては明六日午後七時より[illegible]日本人商業會議所樓上に於て講演會を開き左の講演ある由因に同會にては會の親睦を厚うする爲め毎月第三日曜日に懇親會を開き又第二第四の兩土曜日は必ず二名の當番理事會館に出席し會員の來遊に[illegible]遊技を[illegible]ことを期すこの事件會場に於ては將棋玉ハジキ輪投げ等の遊具を備へ置く由

一宗教と生命　ハリス博士
一罪惡の心理的原因に就き　國分檢事總長

●京城民團送迎會 京城民團にては伊藤統監の送別と大久保軍司令官の歡迎を兼ね送迎會を開く筈にて目下準備中なりと

●宇佐川總裁談

渡韓の途次京都停車場に着したる宇佐川東拓總裁は車中或る人に向ひ渡韓後の方針に就き左の如く語られたり

社員任命せられて以後匆々赴任すべかりしも社員任命の爲め讀所を懸け廻り適所[illegible]を得んとて其準備に今日迄遲延したのだ副總裁は二三日遲れて出發することになつて居る社員の多數は[illegible]任地に赴き東京に殘つて居るのはホンノ僅だ何分四角張つた軍人の洋刀が商垂を掛たのだから中々骨が折れるアノ會社の方は軍人の權に短兵急には行かぬ其形狀が定まつたと云ふばかりだ金融、事業、秘書等の五つに分課が出來た韓國政府よりの金三百万圓の其の代りとして出した田地五千七百町歩山林五千七百町歩は京城に本部を南韓に出張所を置くことだけは定まつて居るそれで着任匆々開始せなければならぬのは金融部である何は兎もあれは金を貸附けて儲けをしなければ…ソレから段々と事業を起すのだ其の金融部に使用する金は當分資金の一部を割いてやる積りだ京城に着して後は當分韓國内地を巡視するつもりだ韓帝の各地行幸は日韓兩國民の爲に相融和する點に於て大に利益があると信ずるそれはさうと伊藤統監も十日頃には歸朝せらるゝ樣子だが着任後一度面會打合したいと思つて居る韓國といへば寒い觀念が起るが[illegible]本年は内地より暖かいさうだ之は大に喜んで居る云々

●地方賊情

▲殷寧管區 賊徒前期と大差なく安島長連新院附近は時々十名内外の賊徒徘徊し又東南部隣接管區境界附近には曩に江華島を跋扈せる首魁池洪基の從ゆる約二百の賊徒越へて當管内を侵害せんとするの形勢あり又鳳山附近は從來賊徒の襲害少からざる爲め人民は憲兵の駐在を望み既に請願せしものあり管區は比較的教育思想に富み安岳邑には七學校あり生徒合計三百人に達し郡守學事に盡瘁すること多大なり又長連郡の如きは日本へ留學するもの八名あり

▲大安分隊管區 賊數[illegible]減少の傾向あると雖も尚全羅南北道境界南原淳昌泰仁任實附近には五六十名乃至百名に達する賊團の來往跡を絶たず全州群山及平壤附近等には數名十數名に達する賊團の出沒前期に比し増加したるの状況あり以下各地方につき略說する所の如し

▲天安管區 前期に比し頗る平穩にして温陽郡の一部を除く外賊群の横行を見ざりしが十二月七日俄然約三十名の賊徒天安郡遠一面豐西里に襲來し同地に居合せたる日本人二名内一名を殺害し一名に重傷を負はせたり其他道川鎭川清州報恩及米院附近等へも六名乃至十數名の賊徒徘徊し未だ平穩の域に達せず又報恩附近に於て韓貨十一月末限り通用禁止となりたる當時金融逼迫し定期市場も不景氣の感ありしも新通貨の廻送により漸次恢復し來れり

▲洪州管區 本期間賊勢は一般に減退せる状況にあり藍浦及青陽附近には二十名内外の賊團徘徊しありしが近來十名内外の賊徒出沒するに過ぎず維鳩汚川唐津海美[illegible]附近も尚小賊あり

公人私人

▲飯田章（京畿道警察部長）一昨日來京不知火旅館
▲小澤義（憲兵大尉）一昨日來京浦尾へ
▲陣軍吉（黄海道警察部長）同上
▲深田乙三（同上書記官）同上

●近事片々

▲朴泳孝が或る政治的意味を以て歸來すしとの報は余りに屢々にて何人も信ぜず
▲果せる哉朴泳孝歸らずとの報道來る左もあるべし未だ渠が出て來るべき幕でなし
▲併し渠に政治的野心なしと見るは誤り也渠は今尚ほ配所の月を眺めて野心勃々乎
▲若し夫れ渠にして野心を放擲すれば見上げたる者なれども渠は性格或は難からん
▲今頃は渠が優勢盛榮の夢を見つゝあるは間違ひ也而も渠には政治的手腕に乏し
▲渠が老後の爲を思へば錦陵宮として靜に大宮人の生涯を送ることを眞に幸福ならん
▲渠に[illegible]政權病を起す[illegible]に何時も躓きを作れて苦吟せざるを得ざる也先裝たてや
▲渠に野心ある[illegible]嫌るけれど之を増いで政權に近付かんとする連中あるには困る也
▲北韓巡幸舉りて伊公の歸期將さに迫る出發前に何等か見るべきの活動あるべき乎
▲宋内相の元氣益々盛にて何人にも衝突して新聞種を蒔きちらす亦之れ一の雄者也
▲魚采林閔後更に李完用氏とも爭論を開き口角泡を飛ばせり借々元氣なる事にこそ
▲曾禰子の事杳として聞へず何ぞ計らん今尚は病痾に苦しめられつゝありとは心配
▲伊公歸東せば例によりて曾禰子は矢張り御留居役か併し多少の活動を顯はしき也
▲伊公歸東して議會に於て必ず統監政治に就て演說する所あらん議會は[illegible]するや
▲統監政治の誤謬に就てより〳〵協議しつゝ連中の建議案か質問かは何時出るにや
▲隈伯後藤男爵を評して猫も勢ひを得れば虎になる後藤も其類なるかとは甚惡罵也
▲赤旦く併し現内閣では二番と下るまいとは何ぞ桂内閣に對する頗る皮肉の罵辞也
▲伯は實際口舌に懸けては全く鍵なもの也いて政友會例に妙を得來る舌は伯の大機關也
▲政友會との妥協にて桂侯の一視同仁も木葉微塵に破れたり借も世間は儘にならぬ

●本邦鯡輸入計畫 鯡は春期石首魚の漁期迄では明太魚に次いで韓人の需用多く[illegible]山港日増附近に於て漁獲せらるゝものゝみにては[illegible]函の輸入あり一箱（二千尾）の價格三十六七圓なりし由にて北海道樺太より輸入すれば非常に利益あるを以て同國の漁業家は目下[illegible]

[illegible]回收後新貨幣及に付調査を要すものあり目下同局の事務官は全部各地方に出張新貨幣[illegible]

山迎日灣附近に於て漁獲せらるゝもののみにては到底韓人の需用を充す能はず昨年は北米海參威の坂神を經由して約五千……非常に利益あると以て同地の漁業家は目下販賣方法に付き調査しつゝありといふ

●葉錢引上後整理　當財務監督局は葉錢……通の按排に付調査中なりと葉錢の引揚と米價の下落の爲め當人なく地方金融は逼迫なりといふ



●宋魚格鬪の眞相（二）

▲宋爛醉して女官室を襲ふ▲勳章で負傷す▲李總理にも食つて懸る

▲宋秉畯の拔刀　吾人は曩に魚潭のみが拔刀せしと報じたるも事實は魚潭のみに非ずして宋秉畯も又拔刀したるなり昨紙所報の如く、宋が爛醉して女官の室を襲ひ……泥醉……爭鬪……なるに至りて遂に

格鬪となり、鬪かぬ氣の宋は遂に**帶刀**に手を掛けスタリと許り拔き放ちたるにぞ、最前より總立となりて騷ぎ居たる供奉員共は四方より宋を抱き漸く押留めたるなりと

▲魚も又拔刀す　宋の拔刀したるに引續ぎ魚も又茲に至りては堪へ切れず、**相應**して拔刀したるも前記の如く是又供奉員達の支ふる所となりたるが若し**一瞬**を**經過**しなば宋魚何れかの内、慥かに**危難**は免れざりしなり、

▲宋決死を公言す　斯くて宋魚の格……は……兩人共**遺恨**……、宋は人々に向ひ自……

死の覺悟なり北韓人は排日派多く多分自分を害せんと計る輩もあるべし、されば自分は**進**んで**危地**に入り死も之れを……するなりと公言し居たりと、併し今……宋……

▲再び李と爭論　……

……して本據に向ふ途次宋は**又々女官室の附近**に腰を卸し居たれば、李は……君は又前日の二の舞ひを演ずるのかと言ひしを宋が憤り茲に又もや李と宋との間に**激論**ありしも今度は拔刀には及ばざりしと

▲容易ならぬ事件　右召列車が殿中に等しきは勿論なり、されば其殿中にて相互に拔劍**決鬪**せんとしたる如きは下の者として決して有り得べからざる行……

大不敬に對して**看過**す可からずれば、決して此儀には嚴重なる處置を取るを必要とす、然らざれば下は天下に範を示すべき地位にある者なれば、……而かも兩人は責任ある官職を有し……宜しく其**所置**を取るを必要とす、然らざれば下萬民の謝ふ處に一大疑點を抱かしめ國家百年の禍の種となるや必せり(完)

●韓皇に藥を獻せんとす

▲警官の爲め取押へらる　去る二日宮廷列車の京義線馬洞驛に着するや同驛に群集せる約四千名の拜觀者中より一人の老人油紙包を携へ玉車近く進み寄るにぞ海州より出張の高野巡査部長之を取押へ取調べたるに彼れは黃海道鳳山郡文井坊の文元鎔(六十)と云へる者にして油紙包の中には地黃炊とて糯米に酒を混じて製したる藥品十二個を包み之を皇帝に直接獻納せんと爲したるものにて此藥品は一個二百目位、價一個五十錢程のものなりと云ふ

●文之助の風流　統監伊藤公の北巡を終へて開城に歸着せらるゝや何人のはからひかは知らねども、當地花月、翔翠等の美形連多數は開城迄公を出迎へたるが是等の一行は再昨夜二日統監府の役人達其他軍司令部の參謀連と同車にて歸京したるが列車中は時ならぬ花を咲かせ帶刀有髯の荒男子達日尻を下げて恐悅がりしも道理なり然るに室内狹まくして滿足に腰を卸す能はず……藝妓達は何以て困り居たるが、一行中に此妓ありと知られたる翔翠の文之助姐さん勵聲一番、皆さんの風采を見れば何れ劣らぬハイカラ計りなるが斯樣な時こそ大にハイカラ西洋流に婦女子に席を讓らるべし……早速藝妓連に席を讓りたり、斯くて列車は益々進行すると共に多くの藝妓は眩暈杯を起し鼻下長連は斯樣な時こそとて種々誤介抱に手を盡しけるが此間に於て獨り文之助君は勇氣綽々、窓外を眺めて和歌五六首を詠じ盛んに敷島の煙を吐き……たるには一同恐入つたりさか何處迄も文之助の本領を現はし居るが面白し

●敷島遊廓の揚高　仁川敷島遊廓先月中の揚高を聞くに左の如し

	登樓客	揚高
一山樓	二二六人	一、三五一、一八圓
朝日樓	一六五	八五一、七五
日進樓	一四五	八二二、九八
敷島樓	一三四	七一六、四七
吾妻樓	一一五	六三九、六三
敷島支店	一七三	五八九、八七
第一高砂	一八九	五〇五、四八
深川樓	九七	四九九、七二
第二高砂	八七	二六四、四四

●料理屋で亂暴　宮城縣仙台市生れ當時京城大和町一丁目石工土田政吉(三十)は一昨日午後八時三十分頃大和町一丁目五十四番戶料理店中宮シナ方に登樓し酩酊の果……

●三妓の歸國　當地南山町の花月樓に於て此程行妓ありと知られたる若一、金吾、房江の三妓は去月限りにて目出度く泥足を洗ひ今朝發の列車にて若一、金吾は鄕里德島へ房江は神戶へ何れも歸國せり

●山本刑事の昇進　過般西小門外に於て短銃强盜と格鬪し遂に其職に殉したる故山本刑事は今回其功績を以て警部に昇進したり尙ほ葬儀は本日午後一時南山本願寺に於て執行の筈なり

……て亂暴を働き障子二枚を破壞し且つ同家屋人遠藤ハナを毆打したる騷ぎに警官出張して南部署に引致したり

●仁川の天然痘　仁川に於ける天然痘……目下……京町二丁目居住の山口要太郎長男同辰次郎は再昨日類似天然痘に罹れり

●掃除を怠つて告發　當地本町二丁目二十七番戶平民藥種商井口平治(五十)は自宅前街路不潔なる爲め再三警官より掃除の督促を受けたるも尙ほ之を爲さざる廉に依り一昨日告發されたり

◉時事俳評　ちはる

○御還幸の盛儀
御還幸の御旗仰ぐや春の風
○御巡幸と頑迷派の醜躍
塊氷の解けて流れて水ぬるむ
○御巡幸後の南韓暴徒
見返れば今出た吾が家霞み居
○山本刑事の殉職
熱血の迸しつて居る椿かな
○宮相の結婚中止
不自然の破鏡の沙汰や春寒し

●一昨夜の新町遊廓　一昨夜新町遊廓へ繰込みたる總數は百二十九人にして費消高六百七十九圓六十九錢內人員にては皆春樓の二十二人と金高にては京城樓の百十四圓五十八錢が最高

●韓人の吊慰金贈與　漢城銀行總務長韓相龍氏は故山本巡査の遭難を聽き金十五圓を贈りて之を吊慰せりと云ふ

●七代目芳村伊三郎(六)

▲藝術修業の困難

▲大薩摩の彈初　彼れは十七歲の夏初めて大薩摩を彈いたのだ、其時の狂言が「夜討曾我」で玄三郎の十郎、芝翫の五郎で、歌は父伊三郎が唄つて三味線を彈いたのだが、玄三郎が舞臺で臺辭を言ひながら親子が水入らずでやつて居るなど云つて笑はした事があつたそうだ

▲音羽屋の失敗　此年音羽屋菊五郎の肇頭で壽三郎、秀調、松助の一行とが下野の宇都宮へ出興行をした時一番目の踏臺……りに柱掛の柱の木を使用する事があるので

●神木の盜伐と身代り　土地の床總と云ふが音羽屋に媚びて同地大神宮の神木を伐り倒して使用したが其前年彦三郎が大神宮へ十圓寄附をした故、神官の方では役者だから又寄附金でもすると思ひて歡許して居たが、芝居を打揚げて外の者は東京へ歸りしに、音羽屋一人は光參りをするとて先づ大神宮へ參り下乘區域內へ籠を乘入れ且つ堅く通行を禁しある裏山を通り拔けて日光方面へ趣きたる爲め一問題となり神官は音羽屋が寄附金を爲さゞるゆへ神木を**盜伐**したりとて其筋へ訴へたる爲め、東京から澤村座の頭取澤村由三、今の尾上松助當時の梅五郎が宇都宮に出張し……五郎の**身代**りとなつて一時入牢した、此時桂次郎は澤村座へ助けに至り居りしが當時の座員殘らず拘引せらるゝ杯の風說ありて非常に心配せしと云ふ

(演)…(藝)…(だ)…(よ)…(り)

●寄席　今夜の替りは一番目「女河內山」二番目「今紫一代記」にて彼の金時計事件を演ずると云ふ

▲永樂亭　三遊亭遊七一座の落語及び義太夫にて二十五錢均一なりと

●韓日英新會話　鄭雲復氏の著作に係るもの一篇二篇三篇と項を分ち第一篇に於ては韓日英三國の單語を列べ第二篇に於ては訪問起臥食事宿泊等緊要簡單なる談話を掲げ第三篇に於ては賣買行引第一通りの用談を載せ粗より精に簡より密に初學者をして學び易からしむる編者の苦心は蓋し容易の業にあらざるなり形は四六版にして全頁四百二十……定價一圓……本町日韓書房より發行せり



一過日梅の家に於て開かれたる歌留多大會に平田商店から御寄贈の鉛筆は何うなつたのですか　返事
一寄贈を申込れたのに本町三丁目の平田商店であつたのを發表する際本町二丁目と誤記したる爲め御寄贈をお取消しになりました、委くに發表する筈

生)▲れ答へします、昨日の本欄に明治町一丁目雜貨店○○商店のた女將さんは口が多くて主人と喧嘩ばかりすると云ふ事が載せてあつたが此れは全然嘘である思ふに先日不都合の廉を以て解傭せられた店員の犬糞的復讐に相違ない不埒のことだ(近所の雇人)▲御通知生よ折角の御通知は謝し升が鷹が此の頃は無いのですよ(給食度生)▲木尾注郎子よ君の龍山停車場に對する攻擊は御尤もで至極同感である高……ないではないからと今日迄差控へて居た譯でしたが或は同店で御迷惑に思はれる節もです、右御了承下さい(委員むら)

●天氣豫報(自四日午後六時至五日午後六時)

北西の風曇

三日{最高溫度 (華氏) 四〇、三
　　最低溫度　　　　 二六、一

四日午前六時各地氣象概況
高氣壓は黃海附近にありて氣壓傾度甚しく北西の風吹き木浦に降雨の外は晴天なり

給を貰つて居る所謂二本筋連の舍宅なぞ彼樣に立派にする無駄錢があるのなら線路の修築でもやらないか船の方が餘した程勸搖れるぢやねぇかオイ大屋さんイヤサ櫻平君(龍山の一公民)▲明治町の衞生床に居る生若へ野郎は不埒な奴だ客の頭を剃刀の柄で突ついたり小五月蠅そうに舌打ちをしたりする彼れが何んの衞生になるんだ大篦棒奴(茂尾厭太)▲衞生床には限らぬが如上な投書が殆んど毎日あるがこんな風では組合の規則なんぞ何遍やり直して見ても駄目だよ主人たるものは注意しないと他へ客を取られるぞ反省し玉ゑ(稲村小僧)▲南大門停車場の待合等を掃除する顏の奇麗な小僧どんが居るこれが顏の奇麗なに似合はぬ氣丈者である先日も僕に水を打掛けた顏を見たが默つてサッサと掃除を續けて居る何故謝罪ぬかと云つたら「掃除をせよとは云ひ付けられたが謝罪どは云ひ付けられぬ」とも云はなかつたが依然無言である斯う云ふ氣丈者を下僚としたる南大門驛長は仕合せである(僕)

●義捐金募集

今回警視廳巡査山本雅夫氏が兇賊の爲め非業の死を遂げられたるは職務の爲めとは言ひながら誠に同情に堪へざるものあれば吾々同業者は茲に義捐金を募集し氏の遺族に送ることゝしたれば同情の諸君は左記何れの社にても差支なきを以て續々申込みありたし

一義捐金申込は一口十錢以上とす
一締切は本月十五日限り
一領收證の替りに新聞に掲載す
一義捐金は警視廳の手を經て遺族に贈與す

二月二日

京城日報社
大韓日報社
朝鮮日々新聞社
京城新報社

故山本巡査吊慰金義捐者

金一圓也　曙町明治亭　坂井佐次郎
通計四圓五十錢

▲無料紹介欄▼

入事部

求事業家　確實なる事業にて年十百圓以上の純益あり金五百圓以上出資し得る人を求む　旭町一の六十　京仁商會（一六三）

求妻　當人年三十五歳品行方正身体健全月收百圓餘三十前後にして普通教育ある婦人を望む　旭町一の六十　川村（一六四）

韓語速成教授　本町六丁目六五韓語速成講習所（一六五）

年十九高等小學校及補習夜學卒業如何なる仕事にても不苦成だけ給料の多きを望む　姓名在社（一六七）

物件部

貸家　龍山停車場前十五間道路筋新築表口三間奥行四間瓦葺二階家造建具一切付用水の便あり　龍山停車場前（一四五）

貸間　二階八疊及び十疊何れも床付き紳士向き賄付にて差支なし　龍山停車場前　電話四九島田（一四六）

貸家　龍山渡江通り三丁目十五間道路一等場所にて間口三間總二階附　明治町二丁目　ゑり徳（一五〇）

商店　向貸家但平家造作付間口三間店土間五坪六疊二疊裏空地十五坪家賃二十五圓　永樂町二赤門前　岡（一五六）

土地　南山町二丁目南山麓眺望絶佳約三百坪譲渡又は賣却何れ共御相談に應ず　永樂町二丁目　岡内（一五七）

測量用一トランシット一脚附一臺一十二磅線便レール四十七チャイン右賣却したし御入用の方は下名へ　南山町一澤田館　小谷（一五八）

瓦葺二階建新築家屋上六疊、三疊下三疊、六疊張及玄關付外押入れ所々欄間あり疊建具一切完備床及玄關付紳士に向適當なり　南山町二丁目南島三百電話八三五（一五九）

貸間　二階六疊二階床間押入付　本町五　月の家（一六〇）

至急貸したし　旭町一の六十　京仁商會（一六一）

雜貨　見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます　旭町一丁目　旭町競賣所（一六二）

廣告

●いさここ問はん●　我思ふ我國新聞（三府四十三縣にて發行する）の總てを配達する取次店は有りや無しやご御尋ねの方あらは　唯**大成社**（本店 京城佛國領事館通／支店 龍山本町參丁目）あるのみご御答可被下候

●我探す店ありや●

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣　京城旭町三丁目　表口一尺八寸以上長材並に船舶用其他各種材

建築業　柴田芝六　電話五五六八番

▲**清潔の下宿**▼　客室の清潔ご調理の美味ご御扱の懇切こを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候　壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）　かめ屋

▲**親切な下宿**▼

▲**轉宅荷物運搬**（京龍間建築工事材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負）　弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚は弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其**賠償の責に任**じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也　京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側　**有田運送店**　店主 有田豊太郎

株式會社第一銀行韓國總支店　電話番號　第一一番 營業課、當直用／第三一番 國庫部、發行部、營業課用／第六二一番 支配人、調査部、文書課用／第三三二番 用度係、分析所用／臨時建築部用

本店　東京市日本橋區兜町

內地支店　大阪、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市

出張所　伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店　仁川、釜山、元山、鎮南浦、木浦、群山、大邱、城津、成興、馬山、義城、平壤

出張所　開城

清國出張所　安東縣

右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候



特約店（いろは順）　本町六 **田中支店** 電話七六四番　本町四 **前田酒店** 電話一三七番　本町五 **酒井政平** 電話六四番

移轉御披露　今般左記の所に移轉す　永樂町貳丁目（赤門通り本町より五軒目）

洋服商　原雄吉　東京塚原支店

純良 **牛乳**　元祖 **平山牧場**　京城大和町一丁目　電話百三十三番

營業科目　活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　諸紙類　製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ倍ノ益ニ營業ノ擴張致候間從前之通御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社　本社 京城明治町三丁目 電話（三三三番）　東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

●土耳古金口莨直輸入●

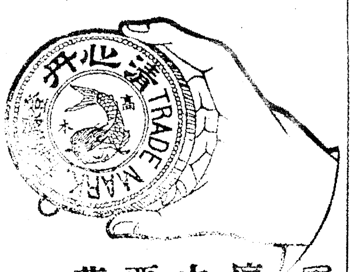
GDS　イ ン ペ リ ヤ ル

·GDSIERLIS & SONS·
SAMOS (TURKEY)

ジーデーシエリス會社　出張所 明治町二丁目 エムジーシエリス

●韓國特約販賣店●　京城黃金町 **井出商店** 電話一九〇番　釜山本町 **內山米太郎** 電話一〇七番　平壤大和町 **佐藤商店**

代理店



懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして滊車滊船のゑひを快よくすること妙
清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名前へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（罐入）十二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）の八種あり
清心丹は製造本舗は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目 **新井藥房本店**　京城本町三丁目（電話四七八番）**新井藥房第一分店**　京城南大門外 **新井藥房第二分店**

東京火災保險株式會社　明治廿年創立資本金一千萬圓　日本國火災保險業の嚆矢　代辨店 山口吳服店　事務所 京城本町二の三電話九番

若草町一丁目藤田雜貨店東へ入ル二軒目門內櫻井町櫻井湯西へ入ル第二養生醫院隣

子宮病　ヒステリー　眩暈　胃病　月經不順　氣辭　便秘　齒痛

弘濟療院　京城若草町一丁目八十七番戶ノ七

免許　催眠施術

無催眠治療　無催眠治療法を用ひず催眠術を施さず輕きは一回重きも數回の治療克く數年の固疾を全治す　無催眠治療に適する諸症左の如し（注意）

●**移轉廣告**

無煙煉炭　韓國新發明燃料用　●特色　火付善く火力耐久價格低廉　●用途　滊鑵、暖爐、竈用に適す　●周防德山海軍省煉炭所東隣　**谷口無煙煉炭工場**　京城特約店　京城濟國領事館通　電話六〇三番　**巳商會**　韓國一手販賣　京城太平町二丁目　**神田組**

（大）（へ）（萬）　特約販賣自製

漬物　味噌　醬油　製造元　京城本町五丁目　**大上商店**（電話二五一番）

和洋酒、㋨精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣　尚御望に依り商品切手調進仕候

一ヶ月八圓の下宿　黃金町　統明館（明治町突當り）

待合　春日　京城本町一丁目北裏支那領事館前　洋室には琵琶、バイオリン、尺八、笛、月琴、碁、將棋等の備付あり御客様方の娛樂に任意す

會席御料理



本町八丁目　**富士見樓**

西洋料理　東京高輪壽し　會席料理　丼類いろ〱　折詰辨當　同サンドーウヰッチ　南大門停車場構內　エーテー淵田　電話六九七

青々園　風味絕佳品質の三者を兼備す　正銘宇治茶京都の茶器　故に尤も進物用に適當なり

茶及茶器商　京城本町四丁目　**青々園茶舖**

日本郵船株式會社滊船出帆廣告　仁川貨物及船客取扱店　仁川海岸通　**郡回漕會**　電話三九番

釜山長崎門司神戶行　東京丸　二月十二日後三時出帆
大連行　高砂丸　二月十六日後一時出帆
大連、大沽行　山東丸　三月二日前五時出帆
大連、大沽行　酒田丸　三月四日正午出帆
釜山、元山、清津、浦鹽行　上川丸　二月二十四日
注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料　一ヶ月金四十錢　一ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回金四十錢▲特別
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城新報社　電話六六三